



2012~2013

会 報

R I 2720地区

The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2738回
2013年2月8日
第28回例会
毎週金曜日

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

会報編集 尾上暢浩委員長

2012-2013年度 R I 会長
田 中 作 次

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎④6665 ☎④6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2月 世界理解月間

点 鐘 山賀勝彦会長
歌 唱 ソングリーダー 石蔵尚之委員
国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」
司会・進行 岩本光義⁷ プログラム副委員長

会長の時間

山賀勝彦会長



立春も過ぎ季節は春ですが、三寒四温と云うか、寒くなったり暖かくなったりしています。しかし、寒さの中にも梅のつぼみが一気に膨らみかけたようです。これからの

の爽やかな早春は、人吉市内も『人吉球磨はおひな祭り』・『春風ラソン』・『大畑の梅まつり』と、春のイベントが重なります。

しかし、視点を中国の空に向けますと、大気汚染が大きな社会問題としてクローズアップされ、青空が消えた中国各地の様子が連日テレビで取り上げられています。毎年春先には、大陸より偏西風に乗って黄砂が西日本一帯に飛来し、車の屋根が真っ白になったり、洗濯物などに被害が出ていました。しかし今回の大気汚染物質は黄砂などと違い、ディーゼル車や工場の排ガスに含まれるすす成分が代表的な物だそうです。花粉や髪の毛より小さい微小粒子状物質なので、ぜんそくや不整脈、肺がん等の健康に影響が大きいと言われています。一方、北京市街ではチベットの空気とか台湾の空気と称して空気の缶詰を、1缶70円で販売して大儲けする者も出るな

ど、中国人はさすがに抜け目がないと云うか詐欺まがいの商売が上手です。

中国はここ十年ぐらい、世界に追い付き追い越せで、急激に産業などの成長を推し進めてきましたが、この辺で一度、その成長速度を一度休み、環境汚染の対策などを先進国にみならって整備する必要があると思います。

世界的にも18世紀から20世紀にかけてのイギリスのロンドンや、アメリカのシカゴやセントルイス等の公害先輩国の問題解決のノウハウが、きっとあると思います。

さて、ロータリークラブでは、12月に中間決算を行ない、1月か2月に中間決算報告をするようになっていますが、本年は1月に慶山RCとの姉妹クラブ締結調印式があった為に報告が遅れています。今月中には出来るとの事です。もうしばらくお待ちください。

今月は世界理解月間です。今日は何をお話したらいいのだろうか調べていましたら、本田パストガバナーの『今月の言霊(ことだま)』に、世界理解月間の事が書かれていましたのでご紹介します。

2月は「世界理解月間」です。特に2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に進め、強調しなければなりません。ポール・ハリスは「ロータリーは平和な世界のミニチュアである」と言っています。そして、ロータリアンは勿論のこと、ロータリアン以外の人々もロータリーについて良く知って戴く事が世界平和につながり、平和のメーカーになり得るのです。

「地上に平和を、全ての人に善意を」これが、ロータリーの心、ポール・ハリスの願いです。

【連絡事項】

1. 地区大会実行委員長より、会長・幹事・ガバナー補佐会議で使用される原稿依頼の件
[地区出向中の中川会員増強拡大部門長へ]
2. 玉名中央RC30周年記念式典の案内の件
式典；4月30日(土)
場所；玉名市ホテルしらさぎ
13:30～点鐘・記念式典・記念講演
17:30～記念祝賀会
登録料；10,000円
締切；3/20(水)
3. 配布の案内
ガバナー月信2月号
ロータリーの友2月号
(株)熊平製作所様より『抜翠のつづり』
4. 地区大会参加人員報告、登録・キャンセルの最終締切は本日までとなっています。

出席率報告

鳥越博治副委員長

本日の出席率			
会員数	67名	77.77%	
出席免除	4名	1/25例会出席率	69.84%
欠席者数	14名	補填数	6名
出席者数	49名	修正出席率	79.37%

*届け出欠席

大賀・中村・齊藤・立山・延岡・漆野・村山・片岡忠・戸高
青木・本田・小林清・宮山・永尾

*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本, 釜田

*メイクアップ

米山奨学生選考会；中島・伊久美
人吉RAC例会；武末・平田・安達
人吉中央RC；高山

【プログラム委員会】

内部卓話

岩本泰典会員



例会3日前に山賀会長より、例会に10分ほど穴が空いたので埋めてくれないかと電話がありました。その折、慶山RC第3次姉妹締結調印式で、私が言語で歌ったイビョル(離別)を山賀会長の奥様が褒めておられたと聞き、煽てにのって引き受けました。ですから、この歌について話をさせていただきます。

今から25年前、赤池会長年度の折、幹事として慶山RCを訪問致しました。訪問先で何か喜んで貰いたいものだと思い、イビョル(離別)を言語で練習し訪問しました。韓国語を覚

えるのは大変でしたが喜んで頂き苦勞の甲斐がありました。この歌を紹介させていただきます。

作詞作曲はキルオギョンという方で、ご一家は医者の家系であり、ご本人も京城歯科専門学校(現ソウル大学歯科)を卒業された歯科医師であります。ジャズ好きが高じて歯科医を捨て、韓国での仲間から紹介され、日本のサクソ奏者・小沢秀夫さんを頼りに日本へ密航されます。小沢さんは色んな楽団や歌手・田端義男のバンドを紹介され、日本名を吉屋潤と決められます。小沢さんが吉屋信子と谷崎潤一郎ファンだったので、双方の名から吉屋と潤を取って命名されたのでした。

日本名となられた吉屋さんは、後々ソウルオリンピックの音楽監督を務められ1995年69歳で亡くなります。お生まれは1927年ですから、ご存命なら今年で86歳になられています。この歌は、北朝鮮の金正日総書記の愛唱歌だったそうで、事ある毎にこの歌を唄っていたといひます。歌詞もさる事ながら、この旋律には胸が締め付けられる思いがします。

吉屋潤氏といい、金正日総書記といい何か感じるものがあるような気がします。私だけでしょうか。それは、この歌詞を国に変えて思ってみますと、互いに南北統一を心から願っていたのではと思されるからです。

(日本語歌詞を紹介します)

時には思い出すでしょう 冷たい人だけ
あんなに愛した思い出を 忘れはしないで
しょう 青い月を見上げ 一人過ごす夜は
誓った言葉を繰り返し 逢いたくなるでしょう
山越え遠くに離れても 海の彼方遥か別
れても 時には思い出すでしょう 冷たい人
だけ あんなに愛した思い出を 忘れは
しないでしょう あなたの噂を風が 運んで来
る夜は 寄せては返す淋しさに 心を揺らす
でしょう 流れ行く月日が すべてを変える
でしょう たとえ二人の炎が 燃えつづけて
いても 山越え遠くに別れても 海の彼方遥
か離れても時には思い出すでしょう 冷たい
人だけ あんなに愛した思い出を 忘れは
しないでしょう。

戦後日本の歌に「花の素顔」というのがあります。その一説に「愛すればこそ憎さも募る・・・」という箇所があります。北朝鮮では原爆実験もあったようですが、本心は、この歌のようであって欲しいものです。

この原稿を書いています今日2月12日は私の胃癌が見つかって13回忌であります。記念日にこの様な機会を与えて頂き有り難うございました。

【雑誌委員会】

ロータリーの友2月号紹介

紹介者 中島博之副委員長

今月は私が当番です。友がなかなか読まれな
いという対策に、毎月雑誌委員会に1部だけ事
前に送付していただき、友の配布時に内容の紹
介をして、より皆さんに読んでいただこうとの
試みで始まったものですが、本当に効果が
上がっているのでしょうか？

委員長不在の時に雑誌委員として不謹慎な発
言かもしれませんが、私にはそうは見えていま
せん。

友の配布された日は、皆さん方真剣に読まれ
ています。そんな最中に、縦書きの・横書きの
何ページと紹介しますと、やはり自分の読んで
いるところを中断して、その方に目を移してく
れます。そんな光景を見ていると見どころ紹介
は必要なのでしょうか？

1週間早く友をいただきまして、縦組みの目
次・横組みの目次に目を通してから読みます
と、飛び越して紹介するページなどありませ
ん・これは紹介者の誰もが経験することです
しょう。

友は月刊誌です。皆さん1か月かかって読み
ましょう。1か月間あなたの机の上に友が見え
ることを願っています。

友をつくる側からは、「おもしろい」「おもしろくない」という発言の中には、友が願っていることとは違う部分で議論されていると言っています。ロータリアン一人ひとりのためのロータリー活動への視点からのおもしろさの有無です。それ故に、ゴシップを扱ったり、マンガを多用したり、連載歴史小説などの掲載に「友」はくみしません。

各人の興味を満足させることが、この機関紙の目的ではありません。「ロータリーの友」は情報誌です。広報誌ではありません。ロータリアン以外の方にお読みいただいても、ロータリーのことをご理解いただけるように努力はしています。が、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

「友」は「内容が難しい」「速報性がない」も耳にしますが、読みやすく編集し、情報を少しでも早く届ける努力はしています。

「友」をより読みやすくするために紙面の刷新をはかろうとも最後はこれを手にするあなたがどのように自分のために活用して下さるか？にかかっています。毎月定期的にお手元に届く「友」はもっとも効率よくロータリー情報を得ることが出来、多くのメンバーの意見や経験を見たり読むことが出来るロータリアン共有

の宝物です。

英語が苦手の私には、近頃カタカナ語が多くなってきたこと、今月の表紙の下段に「ロータリアンのためのポリオ撲滅アドボカシー入門」見ただけで読む気を削ぎます

カタカナ語辞書が離せなくなってきましたのは私だけでしょうか？ポリオ撲滅は大きな目標です。撲滅が成されない内は別のプロジェクトに挑戦はしないと言われていたもので、自分で出来得る限度の募金はしなければならぬとは思っていましたが、活動資金の募り方(45ページ)を学びこれを行いなさい・・・とは考えてもいませんでした。

私はいたしません。皆さんのお考えは？

縦書き、横書き、どちらから読みますか？

今月の縦書きはチェルノブイリ原発事故26年後と福島について厳しくまた驚くことなどが書いてあります。

次はこの人、この仕事。皆さん毎回興味持って読んでおられる事と思います。今回も感心させられました。

また、「ロータリー歌壇」には2720地区の会員さんが投稿されています。10月号には前熊本県知事の潮谷義子さん。今月号には潮谷愛一会員が寄稿されています。皆さんも是非投稿を・・・。「友」の紹介で毎回思うことは、ロータリーの友委員会の事務局が自信を持って作るだけあって、全部目を通して是非読んでいただきたいと思うばかりです。

【ニコニコ箱委員会】 岩井和彦委員

- ・岩本泰典会員 卓話させていただきました。
- ・有馬会員 熊本での会議の為、早退いたします。

【R財委員会】

- ・山賀会長 岩本会員、楽しい卓話をありがとうございました。

点 鐘 山賀勝彦会長



ポール・ハリス語録

『ロータリーについて』

指導がよければ個人の努力で大きなことを成し遂げることができます。しかし、最大の善行は、必ずしも多くの人の努力を集めたものとは限りません。個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、多数の人の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力には限界というものはありません。誰も、この大きな能力を自分のために使うことはできません。これは意識していなくても世界の常識です。私たちは、物事を公正かつ明確に理解し、その必要に応じた力を行使しなければなりません。ロータリーはその最も希望に燃えていた時にすら、自らの力を十分認識していませんでした。ロータリー全体の力ですら感じられないときがあります。私たちは、いつの日か、力強い一撃を自分に与え、目を覚まさなければなりません。

ロータリアン誌、1917年7月号

『職業分類』

各会員がロータリーにおいて一つの任務をもっていることを忘れないようにしてほしいと思います。それは、野球チームのショートストップの任務と同じくらい個人が際立つ任務です。それは、会員が自分の商売や専門職務を代表しているという任務です。私は、ロータリー・クラブにおける私の専門職務のただ1人の代表者です。それは、恐ろしいような責務であると同時に誇るべき責務です。この任務は必ず効果を上げることに繋がります。

ロータリアン誌、1913年2月号

職業分類によって会員を選ぶという方式により、ロータリー運動は、会員という枠を越えて、社会に奉仕するあらゆる職業に、その倫理的な理想を投げかける機会に恵まれました。従って、ロータリアンのひとりひとりが、ロータリーの理想主義と自分の職業とを結ぶ輪の役をするわけです。また、自分と同じ職業に従事する他の人々に対して、その職業の最高の規準をつくり上げる仕事に協力してもらおうという特別の責任も負うことになります。

『ロータリーの奉仕理念』（奉仕の理想）

数多いロータリーの公式文書の中で奉仕理念に触れているのは「決議23-34」のみです。

決議23-34には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—Service above self—の哲学であり、He profits most who service best という実践理論の原理に基づくものである。」と定義されています。



『ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。』と、『ロータリーの奉仕理念』が説かれています。

新会員へのオリエンテーション 改訂版第13版より



ロータリーの理解を深める情報源
<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>